

計画の位置付け

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	計画の位置付け	総合計画は不用である。個別計画で行政展開すべき。 農産物、歴史PR、企業誘致が出来ない現政で出来る業政にすべき。	香川公民館	(アンケート)
2	計画の位置付け	計画の位置付けのところで、これは平成23年に初めて自治基本条例に基づいて策定したものを今回改定するということでしょうか。 2期目で最初に作ったものの改定だということか。	鶴嶺公民館	今の総合計画を作った10年近く前になるが、そのときは地方自治法に作らなければいけないという規定があった。 今はその規定がなくなっているの、今回作るものは自治基本条例に基づいて作る計画という形になる。 自治基本条例ができたのは平成21年であり、2期目に入る。
3	その他計画の位置付け	文章だけでは想像がつかないので、資料もグラフなどで見せてほしい。 個別の様々な計画と総合計画は整合性を持ってやっているのを知りたい。 総合計画は意味がないのではないかと。 他の地域、市町村では総合計画がなくなっているところもある。	鶴嶺公民館	総合計画が上位にあって、その下に個別計画が位置しているという関係である。 総合計画を改定すると、ズレがあるようであれば、個別計画のほうを改定していく作業をしている。 但し、総合計画の計画期間と個別計画の計画期間が必ずしも合っているものばかりではないので、タイムラグが生じているものもあることは確かである。 総合計画は、自治法の規定がなくなり、総合計画を作ることをやめている自治体も出てきている。 茅ヶ崎市は自治基本条例の中に総合計画を議会の議決をもらって作るようにという縛りが掛かっている。 自治基本条例の縛りがなくなれば、作らない選択肢を選んでいくことはできる状況であるが、今回は作る方向で進んでいる。
4	計画の位置付け 計画推進に向けて	総合計画自体に対する意見だが、総合計画を作るメリットとデメリットを比較すると、デメリットの方が大きいのではないかと。 デメリットの一つは、施策目標を細分化してしまい、それに基づいて組織を再編し拡大した結果、職員の人数も増えてしまっていることである。 二つ目は、これは特に問題だと思うが、実施計画と総合計画の関連性がないことである。具体的に言えば、総合計画と実施計画を合計した現在までの歳出の差が800万円となっている。市は扶助費が増えているからと説明しているが、それだけでなく、建設費や公債費、補助費、物件費に含まれる維持管理費などが増えており、これらによって色々なところに歪みが出てしまっている。この意味で、総合計画は本当によかったのか疑問である。 実施計画は、PDCAが全然回っていない。3年間という計画期間の中で過去の実績を踏まえて、事業評価をするが、現状維持が拡充しなく、やめるという判断がなかなか出来ない。もっと長期的に判断しなくてはならない。 総合計画の策定を続けるのであれば、これまでの実施計画の取組の中で何が起ったのかをしっかりと評価するとともに、これからの取組に対して、具体的なアクションを出していく必要がある。今のような状況が続けば、茅ヶ崎市は、財政的につぶれてしまうのではないかと。 こういった状況から、総合計画はつくるべきではないと考える。	体験学習センター	今の総合計画に関しては、政策目標、施策目標を総合計画の中に立て、そこに市役所の組織を一致させて、8、9年続けてきた。進行管理のしやすさはあったが、計画策定時に想定できなかった新たな課題に柔軟に対応できなかったり、現場レベルでの仕事のやりにくさはあったかもしれない。それらを踏まえ、次の総合計画は、柱を8本と大括りに見直し、組織も体系にこだわらず作ることとしている。 総合計画の策定義務が外され、つぐらない自治体も出てきているが、それなりのやり方にもあると聞いている。また、市の施策は長期的なビジョンに基づくべきであり、市長が変われば、方向がぶれるというのでもまちづくりとしてはうまく行かないと考え、一定の方向性を示す総合計画を引き続き策定することとした。なお、自治基本条例にて総合計画の策定について書かれている。ただし、10年後、総合計画をどうするかということについては、他市の状況などもお聞きしながら、その次の策定期間中に考えたい。

計画推進に向けて

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	計画推進に向けて	現行の総合計画では20の目標を各部が責任をもって実施する、という考え方だったと思うが、今回は、これを7つの政策目標と1つの全体をまとめるものの、計8つに統合されている。この目標を共有できる組織や機構を見直す必要があると思うがいかがか。	香川公民館	現計画では、責任の所在を明らかにするため施策体系と市役所の組織を一致させてきたが、計画策定時に想定していなかった課題が出てきたときに、臨機応変に対応できない部分があった。また実務的に、現場レベルでの仕事のやりやすさの観点からも、もう少し柔軟な形で対応できるようにしようという考えで進めている。
2	計画推進に向けて	情報共有といっても、実際にはほとんどできていない。政策目標をひとつの部門に集約していけば効率も上がり、効果的な施策ができるのではないかと。新しい課題は企画経営課で、どこが対応していくべきか、検討していけばよいのではないかと。	香川公民館	組織については、行政改革推進室が検討しているので、今のご意見を伝えたい。これから検討していきたい。
3	計画推進に向けて	現行総合計画では5つの理念をベースに各部局・課がいかに20の政策目標を策定し責任をもって実行する方式でしたが、次期総合計画では政策目標を7つの政策目標にまとめられたことやその場合、政策目標を達成するための組織・機構の変更があるかどうかとのわたしの質問に対して、企画経営課長から各課だけで施策を推進する場合にいろいろ(縦割り行政?)な弊害もあるので、今後は関係各課が政策目標を情報共有しながら推進した方が良く考えているとの回答がありました。 政策目標や施策を効率的・効果的に進める上で、関係部局や課の間の情報共有が大切だと思います。情報共有を的確に行うために、関係部局間・課の間の定期連絡会や緊急連絡会を開催できるシステムが必要ではないでしょうか。 また、積極的な市民参加を求めるためにも、施策・事業内容が市民に理解してもらうことも大変重要だと思います。各政策目標をどの部局・課がいかに担当しているのかを市民にすぐ分かるように、7つの政策目標に関係する部局名・課名を明記して、迅速で確かな情報共有ができるシステムが構築されるよう要望します。	香川公民館	(アンケート)

4	計画推進に向けて	総合計画と実施計画の期間は、総合計画は10年間で実施計画は3年間だと思う。 基本的に総合計画の中に実施計画が盛り込まれるという、来年の2月には予算をある程度は線引してくると思うが、これは並行してやるのか。 総合計画ができてその下にぶら下がる実施計画ができあがるのかと思うが、その時期的なことを教えていただきたい。	松林公民館	総合計画は令和2年6月に市議会に議案として提出し、議案が可決されればそこで出上がる。 令和2年度に入ると、その下にある実施計画の策定作業に取りかかり、最終的に実施計画を確定させるのは、令和3年の2月か3月になろうかと思う。 実施計画の計画期間は検討中。
5	総合計画の位置付け 計画推進に向けて	総合計画自体に対する意見だが、総合計画を作るメリットとデメリットを比較すると、デメリットの方が大きいのではないかな。 デメリットの一つは、施策目標を細分化してしまい、それに基づいて組織を再編し拡大した結果、職員の数も増えてしまっていることである。 二つ目は、これは特に問題だと思うが、実施計画と総合計画の関連性がないことである。具体的に言えば、総合計画と実施計画を合計した現在までの歳出の差が800万円となっている。市は扶助費が増えているからと説明しているが、それだけでなく、建設費や公債費、補助費、物件費に含まれる維持管理費などが増えており、これらによって色々なところに歪が出てしまっている。この意味で、総合計画は本当によかったのか疑問である。 実施計画は、PDCAが全然回っていない。3年間という計画期間の中で過去の実績を踏まえて、事業評価をするが、現状維持か拡充しかなく、やめるという判断がなかなか出来ない。もっと長期的に判断しなくてはいけない。 総合計画の策定を続けるのであれば、これまでの実施計画の取組の中で何が起ったのかをしっかりと評価するとともに、これからの取組に対して、具体的なアクションを出していく必要がある。今のよう状況が続けば、茅ヶ崎市は、財政的につぶれてしまうのではないかなと思う。 こういった状況から、総合計画はつくるべきではないと考える。	体験学習センター	今の総合計画に関しては、政策目標、施策目標を総合計画の中に立て、そこに市役所の組織を一致させて、8、9年続けてきた。進行管理のしやすさはあったが、計画策定当時に想定できなかった新たな課題に柔軟に対応できなかったり、現場レベルでの仕事のやりにくさはあったかもしれない。それらを踏まえ、次の総合計画は、柱を8本と大括りに見直し、組織も体系にこだわらず作ることとしている。 総合計画の策定義務が外され、つぐらない自治体も出てきているが、それなりのやりにくさもあると聞いている。また、市の施策は長期的なビジョンに基づくべきであり、市長が変われば、方向がぶれるというのもまちづくりとしてはうまく行かないと考え、一定の方向性を示す総合計画を引き続き策定することとした。なお、自治基本条例にて総合計画の策定について書かれている。ただし、10年後、総合計画をどうするかということについては、他市の状況などもお聞きしながら、その次の策定期間中に考えたい。
6	計画推進に向けて	総合計画の立て方について、いろいろ問題を感じている。 前総合計画の2層構造は引き継がれるのか。 財政計画は骨子の中でどのように位置づけられるのか。 現計画の振り返りがない。	市役所（10月3日）	現在の総合計画は2層で、今回も2層にしようと思っている。前回は基本構想の中に基本計画を含むものとしたが、今回は実施計画に基本計画が入る形で修正した。 財政については、不確定なところがある中で、市税の10年間の見通し、事務的な経費といった比較的確実性のある情報を11ページ以降に入れている。今後、いかにわかりやすい形で財政状況を出すかは検討したい。 全計画の振り返りは、昨年度、基本理念評価をしており、それぞれの分野についての積み残された課題等の振り返りをしている。 現計画の全体の評価としては、250ページで分厚く政策目標も21あり、市役所の組織に運動させて執行責任を出したが、硬直している、縦割りになっていることを指摘されている。今回はそういった反省をふまえて政策目標を8つにし、組織についても政策の目的ベースでつくっていく骨子となっている。